

令和5年7月・8月

板橋区立中学校

「部活動地域移行協議会」



板橋区教育委員会



1. 検討の経緯

平成30年3月 平成30年12月	スポーツ庁 文化庁	「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」策定 「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」策定
令和2年9月	スポーツ庁	「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」提示
令和3年10月 令和4年2月	スポーツ庁 文化庁	「運動部活動の地域移行に関する検討会議」設置 「文化部活動の地域移行に関する検討会議」設置
令和4年6月 令和4年8月	スポーツ庁 文化庁	「運動部活動の地域移行に関する検討会議 提言」 「文化部活動の地域移行に関する検討会議 提言」
令和4年12月	スポーツ庁 文化庁	「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」
令和5年3月	東京都	「学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドライン」 「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」

2. スポーツ庁・文化庁の「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」

板橋区教育委員会

これまでの学校部活動

生徒



自主的・自発的に参加

学校部活動

教師の
献身的な支え

学校教育の
一環

2. スポーツ庁・文化庁の「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」

板橋区教育委員会

学校部活動の教育的意義

異年齢の交流

人間関係の構築

学習意欲

自己肯定感

責任感

連帯感

などなど

2. スポーツ庁・文化庁の「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」

板橋区教育委員会

持続可能性の低下

少子化

専門性や意思に関わらず教員が顧問を務める
これまでの指導体制

持続可能性の低下

2. スポーツ庁・文化庁の「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」

板橋区教育委員会

豊かなスポーツ・文化芸術活動を実現するには…

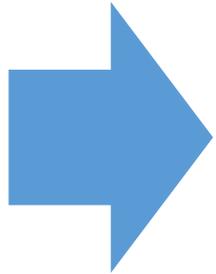
学校部活動の在り方

持続可能な活動環境

3. 新たな地域クラブ活動とは (スポーツ庁・文化庁の総合的なガイドラインより)

新たな地域クラブ活動の在り方

- ・生徒が生涯にわたってスポーツ・文化芸術に親しむ機会を確保
- ・地域住民にとってもより良い地域スポーツ・文化芸術環境となることをめざす



地域のスポーツ・文化芸術団体、学校等の関係者の
理解と協力の下、生徒の活動の場として、活動を行うもの。

学校の教育課程外の活動として、

社会教育法上の「社会教育」の一環

3. 新たな地域クラブ活動とは (スポーツ庁・文化庁の総合的なガイドラインより)

参加者

希望する全ての生徒

運営団体・実施主体

- 総合型地域スポーツクラブ
- 文化芸術団体
- 体育・スポーツ協会
- 競技団体
- クラブチーム
- 大学
- スポーツ少年団
- 市区町村

4. 学校部活動の地域連携、地域移行のイメージ (スポーツ庁・文化庁の総合的なガイドラインを一部改)

学校部活動

【位置付け】学校教育の一環（教育課程外）

指導者	当該校の教員
参加者	当該校の生徒
場所	当該校の施設
費用	用具・交通費等実費
補償	災害共済給付

地域連携

学校部活動の地域連携

■合同部活動の導入や部活動指導員等の適切な配置により生徒の活動機会を確保

指導者	関係校の教員・部活動指導員等
参加者	関係校の生徒
場所	拠点校の施設等
費用	用具・交通費等実費
補償	災害共済給付

地域移行

地域クラブ活動（地域移行後の形）

【位置付け】学校教育外（社会教育）

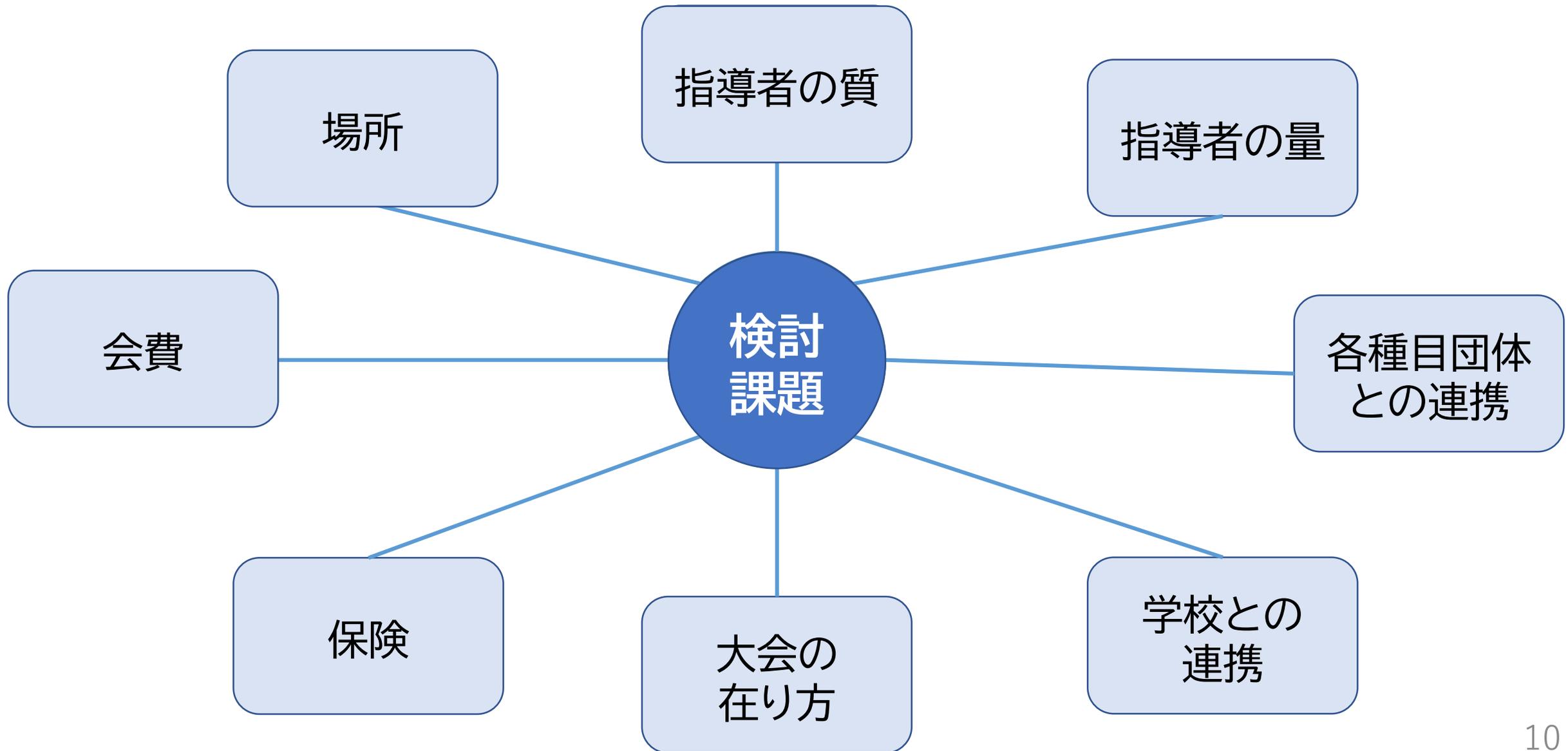
■地域の多様な主体が実施。学校は、活動方針、活動状況や生徒に関する情報の共有等を通じて連携。

指導者	地域の指導者
参加者	地域の生徒（他世代含む）
場所	多様な施設
費用	会費、用具・交通費等実費
補償	各種保険等

地域連携・地域移行の比較

	地域連携	地域移行
位置付け	学校教育	社会教育
参加者	学校の生徒	地域の生徒
費用	用具等の実費	会費及び実費
補償	災害共済給付	各種保険等
責任の所在	学校	運営主体
教員の兼職兼業による指導	学校活動のため想定されない	可

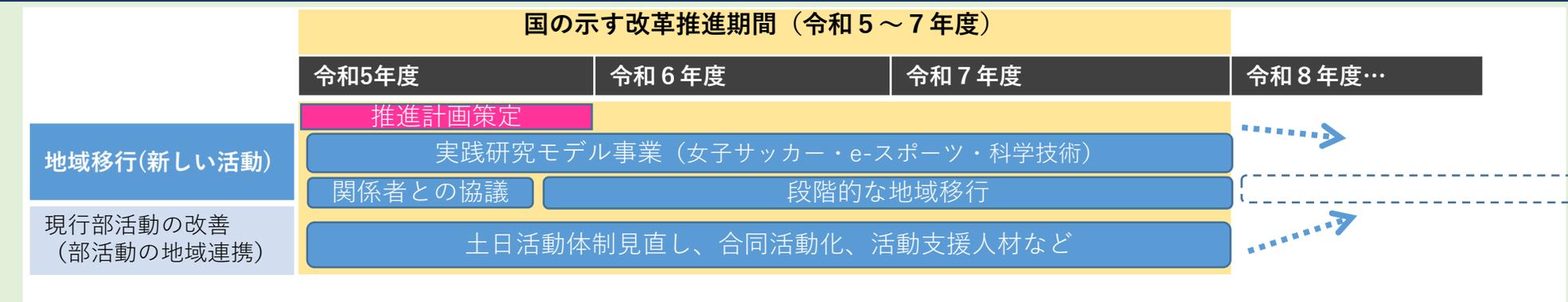
5. 地域連携・地域移行にあたっての検討課題



1. 基本的な考え方・方向性

- ① 「地域移行の推進」と過渡期における「地域連携」を二本の柱として進める
- ② 生徒自身が成長を果たせる機会となるよう、新たな視点で新制度を構築
- ③ 令和7年度までに、土日における教員に頼らない指導体制の構築をめざす
- ④ 生涯スポーツ社会・生涯学習社会のより一層の推進

2. 改革スケジュール



3. 重点戦略

重点戦略1 地域移行の推進

いたばし地域クラブ

重点戦略2 地域連携の活用

部活動指導員 ・ 部活動補助員 ・ 合同部活動化 等

重点戦略3 地域と一体となった受皿整備

以前からある地域や民間によるスポーツ、文化芸術、学問等の活動



4. いたばし地域クラブの SDGs コンセプト

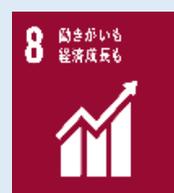
中学校部活動 × SDGs 持続可能な新しい活動へ

Sustainable New Activity



すべての人に健康と福祉を

一生涯続けられるからだが大切



働きがいも経済成長も

週末に休める先生というしごと



質の高い教育をみんなに

進学した中学校に左右されない選択肢



人や国の不平等をなくそう

私にもプレーするチャンスを



ジェンダー平等を実現しよう

私もやりたいその種目



平和と公正をすべての人に

STOP 暴言 指導ではなくサポートを



各クラブの画像はイメージです。



女子サッカークラブ



科学技術クラブ



eスポーツクラブ



女子サッカークラブ

15名

eスポーツクラブ

25名

科学技術クラブ

18名

